

ペンの達人ブランド創造事業

—No.33 蓮田市—

【事業の目的】

官民一体となって「硬筆のまち蓮田」を継続的に推進していくことにより、蓮田市の知名度を上げ、蓮田市人口ビジョン及びまち・ひと・しごと創生総合戦略に掲げる交流人口や転入人口の増加につなげます。

【事業の内容】

硬筆書写技能検定の公費受験や蓮田市出身の偉人による「ペンの達人」をテーマとした講演、市内硬筆展などを開催し、官民一体となって「硬筆のまち蓮田」を推進し、新たな地域ブランドを創造する事業です。

【事業年度】

平成 29 年度～

【予算額(千円)】

3,961千円

【財源】

一般財源（市）

【事業実施に至った背景・経緯】

埼玉県は、小・中学校に「硬筆」の授業がある唯一の都道府県であり、全国的にも有名な「硬筆への取組が盛んな県」です。蓮田市でも明治 38 年に東北地方に大飢饉があったときに、芥川龍之介と親交のあった関口平太郎が、子供たちに筆や墨・紙・教科書などの学用品を贈るなど古くから書くことが盛んでした。

現在、蓮田市では、硬筆の授業に真剣に取り組んでいます。その結果、蓮田市の子供は集中力が高く、全国学力・学習状況調査では、全国平均や県平均よりも高い結果を残しています。また、高い集中力を要する外科手術において、

優れた手腕を発揮している天野篤順天堂大学医学部心臓血管外科教授などの偉人を輩出しています。

そのような市の強みを生かして、地域の未来の支え手となる子供たちにペンの達人事業を推進し、教育するなら蓮田市という地域ブランドを創り出せば、地域活性化の起爆剤となるのではないかと考え、事業実施に至りました。

【事業のPRポイント】

英語検定試験や漢字検定試験などの公費受験は今までにも事例がありましたが、硬筆書写技能検定試験の公費受験とそれを生かした地域の活性化は、県内初の取組です。

【今後の展開】

継続的に事業を実施し、「硬筆のまち蓮田」ブランドを高めていきます。

〔 連絡先 〕

政策調整課 政策調整担当 048(768)3111(内線283)